

火で試された金

「私はあなたがたに、火で試された金を買えと勧める。そうすれば、あなたがたは富むようになる。」

黙示録3:18

イエスの死と復活以来、ほぼ二千年にわたり、私たちの天の父は、キリストの栄光ある王国における将来の支配下で、罪に病み死にゆく人類の家族を祝福する特権を共有する特別なクラスのキリスト者に招きを伸ばしてきました。この授業の冒頭の聖句で、復活された主は、この特別なクラスの忠実な従者について、非常に特別な方法で語っています。彼らは「火で試された金」として価値ある性格を育む者たちです。

ヨハネの黙示録の記述を通じて、主イエスの弟子たちがこの世から召された後、清められ、精錬され、彼の性格の模範に似せられる必要があることが明確に示されています。この使命を果たすために、彼は彼らに忠実であるために必要な重要な霊的な賜物を与えるでしょう。冒頭の節は、これらの人々に対

し、「白い衣を着け、あなたがたが着せられ、あなたがたの裸の恥が 現れないように。また、目を目薬で塗れ、あなたがたが見ることができるように」と続けます。

非常に価値ある

今日、金は存在する金属の中で最も価値のある3つのうちの1つであり、聖書時代には最も価値のある金属でした。通常、少量で発見されるため、非常に希少です。金は聖書で最初に言及される金属であり、ピソンという名前と関連しています。ピソンは「増加」を意味し、エデンの園から流れ出た川を四つに分ける四つの支流の一つです。川は人類の家族を象徴し、その中から特別な階級が選ばれることを表しています。ピソンはエデンの川の最初の支流として言及されています。聖書の記録には次のように記されています。「エデンの地から川が流れ出し、園を灌ぎ、四つの支流に分かれた。最初の支流はピソンと呼ばれ、ハヴィラの地を囲み、その地には金があった。その地の金は特に純粋で、香ばしい樹脂とオニキス石も見つかった。」 - 創世記2:10-12

金は、その希少性だけでなく、耐久性と美しさのためにも高く評価されています。古代には、アブラハムの名前が変更される前から、富と地位の尺度と

して認識されていきました。「アブラムは、家畜、銀、金において非常に豊かでした。」(創世記13:2)。時代を超えて、今日に至るまで、金は高く求められ、蓄積されてきました。しかし、聖書は、この蓄積された富が無価値となり、現在の世界とその悪の制度が滅びる時が来ると予言しています。ヤコブは書きました。「今、富む者たちよ、あなたがたに臨む悲惨な運命のために泣き叫べ。あなたの富は腐り、あなたの服は虫に食われています。あなたの金と銀は錆びています。その錆はあなたに対して証言し、火のようにあなたの肉を食らうでしょう。あなたは最後の日に富を蓄えたのです。」 - ヤコブ5:1-3

色、輝き、酸化や変色に耐える性質から、金は特に宝飾品や装飾品の製造に有用です。「あなたの頬は宝石の列で美しく、あなたの首は金の鎖で飾られている。」(ソロモンの歌 1:10)。金は他の金属よりも安定しており変化しないため、国や人々之间的取引や交換の基準として使用されてきました。

神の性質

その希少性と高い価値のため、金は聖書において、キリストの花嫁が人生の最も高い次元である神性において受け継ぐ霊的な相続を象徴するために用い

られています。(2 ペテロ 1:4)。今回の聖句は、黙示録の7つの教会に対する最後の(使徒)たちへの主のメッセージから引用したものです。この感動的な約束は、「克服した者には、わたしと一緒に、わたしの王座に座ることを許そう。わたしも、自分の父とともに、その王座に座ったのと同じである」というものでした。(黙示録3:21)。忠実なキリスト者は、「キリスト」の成員として神の性質を共有し、未来の天の王国でメシヤの王座に座る姿が示されています。イエスは約束しました。「私はあなたがたに王国を授ける。父が私に授けたように。」 - ルカ22:29

キリストの花嫁

旧約聖書における未来の出来事の前表として、イサクの花嫁リベカは、キリストの花嫁である彼の忠実な弟子たちを表しています。(創世記24章参照) このことを示すため、彼女は天の父が愛する御子、私たちの主イエスのために花嫁を求める素晴らしい約束を象徴する金の贈り物を与えられました。リベカは、将来の夫であるイサク(私たちの主イエスを象徴する)と出会うための困難な旅に出る決意を示し、父の家を自発的に離れました。「らくだが水を飲み終えた時、その男(イサクの僕)は、半シェケル重の金の耳輪一つと、彼女の腕(リベカ)のための

十シケル重の金の腕輪二つを取った。」 - 創世記
24:22

詩篇には、キリストの花嫁が金で飾られる未来の結婚式の描写があります。金は、彼女が神聖な生命の次元への霊的な報いを象徴しています。この最も素晴らしい相続について、詩人は次のように記しています。「王の娘たちはあなたの尊い女性たちの中にいた。あなたの右手に立っていた女王は、オフィル産の金で飾られていた。」(詩篇45:9) 女王は、結婚しようとしている主への忠誠心と、真実と正義の原則で満たされた性格のため、他の尊い女性たちから区別されていました。同じ詩篇には次のように記されています。「あなたの御座は、神よ、永遠に続くでしょう。正義の杖があなたの王国の杖となるでしょう。あなたは正義を愛し、悪を憎む。それゆえ、あなたの神である神は、あなたを喜びの油で油注ぎ、あなたの伴侶たちよりも高く上げられた。」 - 6,7節

オフィルへの言及は、最高品質の金の産出地として知られる場所を指します。したがって、詩人は続けて言います。「王の娘は内面も輝かしい。彼女の服は鍛造された金でできている。彼女は刺繍の服を着て王のもとに連れて行かれる。」 - 詩篇
45:13,14

天の都

キリストの未来の花嫁について語る際、私たちの主イエスは宣言されました。「あなたがたは、この世界の光です。山の上に建てられた町は隠れることができません。」（マタイ5:14）。キリストの花嫁である忠実な信徒たちへの最後のメッセージで、私たちは天の都の姿を垣間見ます。「私、ヨハネは、神から天から下ってくる聖なる都、新しいエルサレムを見た。花嫁が夫のために飾られたように、準備された都であった。」（黙示録21:2）。同じ章の後半で、ヨハネは象徴的な言葉で栄光に包まれたキリストの姿を記述しています。「彼は私を霊で高い山に連れて行き、神から天から降りてくるあの大いなる聖なるエルサレムを見せた。その光は神の栄光であり、その光は最も貴重な石、ジャスパーの石のように、水晶のように澄み切っていた。」 - 10節、11節

金が高貴なキリストの花嫁と結びつけられたように、天の都もまた神聖な制度として見なされました。「その壁の建造物はジャスパーでできており、都は純金で、透明なガラスのようでした。都の壁の基礎は、あらゆる種類の宝石で飾られていました。...十二の門は十二の真珠で、各門は一つの真珠でできていました。都市の大通りは純金で、透明な

ガラスのように清らかでした。」（18-21節）。このように、神の都市は、諸国を支配する準備を整えた栄光に満ちたキリストを象徴しています。天の都は、キリストの栄光に満ちた未来の王国のもとで、地のすべての家族の祝福の中心となるでしょう。 - 創世記22:18；使徒行伝3:25

古い秩序の終焉

私たちは現在、この「現在の悪の世界」の終末の時代に生きており、主の約束された再臨の定められた時を迎えています。（ガラテヤ人への手紙1:4）これは、キリスト・イエスにおける天の召命に応えた者たちにとって、試練と試練の特別な時でした。マラキの預言の言葉から、次のように読めます：「彼の来る日、誰が耐えられようか。彼が現れる時、誰が立ち得ようか。彼は精錬者の火のようで、衣服を白くする強い石鹼のようだ。彼は銀を精錬し清める者のように座し、レビの子らを清め、金や銀のように精錬し、主への義の供え物を献げるようにする。」 - マラキ3:2,3

私たちは、自己中心と高慢を基盤に築かれた世界の古い社会秩序が、キリストの来臨の王国に備えて消え去りつつあることを知ります。この諸国の混乱の証拠として、ルカはイエスの言葉を記録していま

す。「太陽と月と星に兆候が現れ、地上では諸国が混乱し、海と波が轟き、人々の心は恐怖で絶望し、地上に起こることを待ち望むからです。天の力が揺れ動くからです。そして、彼らは 人の子であるイエスが、力と大きな栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るでしょう。」 - ルカ21:25-27

今日、私たちの周囲には、預言された「諸国の苦難と混乱」が至る所に現れ、解決の道や逃れる手段が見当たらない。自己中心主義、憎しみ、高慢、そして攻撃の精神が、残酷で強力な独裁体制を生み出した。罪、腐敗、不正は、確かに恐ろしい結果をもたらした。人間は今や、自分自身を何度も破壊する武器を手にしています。しかし、神の素晴らしい約束により、人類が自分自身を破壊することは許されないことが保証されています。聖書は、神の力と介入によって制止されない限り、人間の自己中心性が最終的に自己破壊に導かれると教えています。イエスは、この恐ろしい時代と世界が向かっている大いなる苦難について語りました。彼は言いました。「もしあの日が短縮されなかったなら、肉なる者は一人も救われなかつたらう。しかし、選ばれた者のために、あの日は短縮される。」（マタイ24:22）。キリストとその教会は、王国権威と栄光をもって適切な時に介入し、人類を神に戻す祝福と回復の業を開始します。

嘆き悲しむ創造物

貧しい嘆き悲しむ人類の創造物は、自らの自己中心的で高慢な狂気から救い出されます。すべての国家と国際問題は、キリストの王国の支配下で解決されます。私たちは、すべての不義が地上から取り除かれると約束されています。「そして神は彼らの目からすべての涙を拭い去られる。もはや死もなく、悲しみも、泣き叫びも、痛みもありません。なぜなら、以前のものはすべて過ぎ去ったからです。そして、玉座に座っていた方が言われた。『見よ、私はすべてのものを新しくする。』そして、私に言われた。『書き記せ。これらの言葉は真実で、確かなものである。』」 - 黙示録21:4,5

私たちが今生きている時代は、イエスの忠実な弟子たちが天の召命に応じてきた約二千年の集大成です。したがって、私たちは「羊の婚礼」の時代が近づいているのです。私たちは次のように読みます。「喜び、喜び、彼に栄光を帰せ。なぜなら、小羊の結婚が来たからである。そして、その妻は自分を整えた。彼女には、清く白い細布で着飾ることを許された。その細布は聖徒の義である。そして彼は私に言った、『...これらは神の真実の言葉である』」 - 啓示録19:7-9

信仰の試練

この時代の終末期は、主の民にとって特別な試練の時期であり、キリストのそれぞれのメンバーの信仰が精錬され、清められ、証明されています。ヨハネは、この時代について次のように預言的な言葉を記録しています： 「彼の怒りの大日が来た。誰が立つことができようか？」（黙示録6:17）。私たちは今、地上におけるすべての現在の制度の崩壊が急速に迫っているのを目撃しています。

イエスは言われました。「同じように、これらのことが起こるのを見たら、神の国が近いことを知れ。本当に、あなたがたに言うておく。これらのことがすべて起こるまで、この世代は決して滅びない。天と地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。気を付けなさい。あなたがたの心が、宴楽、酩酊、そして人生の心配事で重くならぬように。そうしないと、その日が突然、罨のようにあなたがたに襲いかかるだろう。それは、全地の面に住むすべての人々に臨むからです。常に警戒し、祈りなさい。そうすれば、起こりつつあるすべてのことから逃れ、人の子の前に立つことができるように。」 - ルカ 21:31-36

信仰と行い

天の召命を受けてキリストと共に相続人となる者は、必ず試練を受けるものです。それぞれが神の聖なる御言葉の信仰に堅く立ち続ける必要があります。「警戒し、信仰に堅く立ち、勇気を持ち、強くなれ。」(コリント人への第一の手紙16:13) もし私たちの中に適切な信仰が育まれないなら、それは必ず実を結ぶことで現れるでしょう。信仰が生き生きとしたものになっていない者は、まだ信仰を成長させていないのです。 **thus does the Apostle James ask,** 「兄弟姉妹たちよ、あなたがたが『信仰がある』と言っても、行いが伴わなければ、何の役にも立たないではないか？ そのような信仰が誰かを救うことができるのでしょうか？ ... だから、信仰だけでは十分ではないのです。良い行いを生み出さない信仰は、死んでいて無用のものです。ある人が言うかもしれませんが、『あなたは信仰がある。私は行いがある』。では、あなたの信仰を行いのないまま見せてみよ。私は私の行いによって私の信仰を示す。」 - ヤコブの手紙2:14,17,18

私たちの信仰、そして私たち一人一人の存在は、今まさに試されています。そのため、主は私たちに「死に至るまで忠実であれ」と促されています。（

黙示録2:10) キリストの花嫁となるべき者の一人一人の死に至るまでの忠実さは、彼と共に栄光を相続し、地のすべての家族と共に祝福を分かち合うという素晴らしい約束を意味します。これは私たちが受けられる最も偉大な贈り物であり、努力して得ようとし、準備すべきものです。私たちの主は私たちの忠実さを求めておられます。彼は私たちから、自己の意志や肉の業を含む、不純物のすべてを清めようとしておられます。 - ガラテヤ人への手紙5:19-21 ; コリント人への第一の手紙5:7,8 ; テモテへの第二の手紙2:21

作品は重要ですが、常にキリスト者の信仰の正しい基盤の反映でなければなりません。信仰と完全に調和していない人生は、その信仰を汚し、そのような信仰は死んだものです。ヤコブは書きました。「あなたがたは、私たちの先祖アブラハムが、息子イサクを祭壇に捧げた行為によって、神に義と認められたことを覚えていないのか。ご覧なさい、彼の信仰と行為は共に働いた。彼の行為は彼の信仰を完成させた。そして、聖書に書かれている通りになったのです： アブラハムは神を信じ、その信仰ゆえに神は彼を義と認められました。彼は神の子とさえ呼ばれました。だから、私たちは行いによって神に義と認められるのであり、信仰だけではないのです。ラハブという娼婦もまた例です。彼女は使者たち

を隠して別の道から安全に逃がした行いによって、神に義と認められました。「息のない体は死んでいるのと同じように、行いのない信仰も死んでいる。」 - ヤコブ2:21-26

もしアブラハムや他の信仰の英雄たちが、互いに信仰について議論するだけであったなら、彼らは信仰の英雄とはならず、信仰によって良い評価を得ることもなかったでしょう。聖書は、彼らが信仰に従って歩み、その行いが信仰と調和していたことを示しています。 **thus was their faith made complete by their works.** 私たちの信仰もまた、愛によって私たちの中で生き、働き、活動していなければなりません。 - ガラテヤ人への手紙5:6; エペソ人への手紙6:23

愛の印

愛という属性の発達も強調されなければなりません。しかし、それは天の召しを受けた者たちの生活において、他の重要な要素に取って代わるものではありません。例えば、愛は教義に取って代わることはできませんが、教義を正しく用いるための指針となります。愛は、主の名による信仰や活動に取って代わることはできませんが、神に受け入れられる信仰と奉仕の唯一の動機です。

私たちは、一つの霊、一つの心で堅く立ち、同じ貴重な信仰を持つ者たちと協力しながら、「純粹な心で熱心に」互いに愛し合うべきです（1 ペテロ 1:22）。私たちは、「愛と善行」を互いに励まし合い、誤解や争いを招くような言葉や行為を避けなければなりません（ヘブル 10:24）。信仰と愛は密接に関連しています。信仰に堅く立ち、愛によって生かされているなら、私たちは「神の力によって守られている」のです。 - 1 ペテロ 1:5

多くの人の愛は「冷えていく」かもしれませんが、私たちが信仰に堅く立つ限り、他者への愛は、たとえ一部の人から拒絶されても、熱く保たれなければなりません。（マタイ24:12）もし虐待や侮辱を受けたとしても、私たちは決して同じように侮辱してはなりません。迫害を受けた時、私たちは決して迫害者の列に加わってはなりません。（1ペテロ 2:21-23）私たちは強い信仰と、聖なる愛の霊の増し加わる必要がある。これが私たちの真摯な願いと熱心な祈りであるべきだ。神の尊い言葉は私たちの信仰の堅固な 基盤であり、私たちの信仰は愛によって働くものでなければならない。 - ガラテヤ5:6

忍耐強い信仰

私たちは、愛する主が私たちを精錬し、清め、清める間、試練に耐え、堅く立ち続ける必要があります。そうすれば、私たちは彼に受け入れられる犠牲を捧げることができます。これは、毎日十字架を負い、彼に従うことを意味します。(ルカ9:23) さらに、それは「祝福された希望を待ち望み、偉大な神であり私たちの救い主イエス・キリストの栄光ある現れを待ち望むこと」を必要とします。彼は私たちをすべての不義から贖い、ご自身に属する特別な民として清めるために、ご自身を献げられたからです。(テトス2:13,14) 愛する精錬者は、私たちに恵み深く働きかけておられます。私たちはこの働きに喜んで従わなければなりません。私たちは皆、精錬と清めを必要としています。なぜなら、私たちの霊的な宝が宿るこの地上の肉なる器には、不純物が内在しているからです。これは、火で試される金と同じです。 - 2コリント4:7

詩人はこう述べています。「主よ、私の声を聞いてください。私の慈悲の叫びに耳を傾けてください。もしあなたが、主よ、罪を記録されるなら、主よ、誰が立つことができますでしょうか。しかし、あなたには赦しがあります。そのため、私たちは恐れをも

ってあなたに仕えることができます。私は主を待ち望みます。私の全が待ち望み、その言葉に希望を置きます。」 - 詩篇130:2-5

私たちの巡礼の旅において、キリストの義の衣に覆われていなければ、天の父の前で立つことは決してできません。「私は主において大いに喜び、私の魂は私の神において喜びます。なぜなら、彼は私を救いの衣で着せ、義の衣で覆われたからです。花婿が装飾品で身を飾るように、花嫁が宝石で身を飾るように。」 - イザヤ61:10

ローマの信徒への手紙で、使徒パウロは「善を行ない続ける忍耐によって、栄光と誉れと不滅を求めらる者たち」に書き送りました。（ローマ人への手紙2:7）ガラテヤの教会に対しては、「善を行なうことに疲れてはならない。なぜなら、もし諦めなければ、時が来れば収穫を得るからである」と述べました。（ガラテヤ人への手紙6:9）私たちの主は、私たちを決して見捨てず、離れない。彼は愛をもって、私たちが彼の似姿に似せられ、彼の姿を反映するように望んでおられる。（ヘブル人への手紙13:5）私たちは、彼の精錬と清めのもとで、勇敢に耐え忍ぶべきである。

前述の節で指摘されたように、私たちは「善を行うことに倦む」ことがあってはならず、私たちの試

練は単に「善を行うこと」ではなく、「善を行うことに忍耐強く続けること」であることを覚えなければならない。また、私たちは「神の全武具」を身に着け、この「悪の日」に立つことができるようにしなければならない。 - エペソ人への手紙6:13

金よりも尊い

使徒ペテロは、現在特に精錬されている金に象徴される「選ばれた者」のクラスに注意を向けます。キリストのクラスについて、彼はその特別な召命を説明します。「神である父の予知に従い、聖霊による聖化を通して、イエス・キリストの血の散布への従順へと選ばれた者たち。あなたがたに恵みと平和が豊かにありますように。」 - 1ペテロ1:2

使徒は続けて言います。「私たちの主イエス・キリストの父なる神は、豊かな慈しみに従い、イエス・キリストの死からの復活によって、私たちを生き生きとした希望に再び生み出してくださいました。それは、天に備えられている朽ちない、汚れのない、消え去らない相続物です。あなたがたは、神の力によって信仰によって救いに至るまで守られているからです。あなたがたは、今しばらくの間、必要に応じて、多くの試練（ギリシャ語：試されること）によって悲しんでいるにもかかわらず、大いに喜んでい

る。」ペテロは、信仰の試練が火で試される金に似ていると結論付けています：「あなたがたの信仰の試練は、火で試される金よりもはるかに尊いものです。 、それは滅びるものですが、試されることで、イエス・キリストが現れる時、賛美と栄光と誉れを得るためです。」 - 3-7節

これが私たちの証しです：「彼は私の行く道を知っている。彼が私を試された時、私は金のように出て来る。」 - ヨブ23:10